



～優しい子・元気な子・賢い子～

あたる子

運動会の練習が始まりました

ゴールデンウィーク明けの9日から、運動会特別日課となり、29日の運動会に向けた練習が始まりました。今年度も低・中・高学年別の入替制となり、御不自由をお掛けいたします。しかし、保護者の皆様に御参観いただけるということで、子供たちは張り切って練習に取り組んでいます。

競技は、昨年同様、全学年でかけっこや短距離走を行います。低学年は50m、中学年は60m、高学年は70mを走ります。

また、1年生は玉入れ、2年生は大玉転がし、3年生は「愛宕タイフーン」、そして、4年生からは全員リレーを実施します。

さらに、保護者の皆様も楽しみにされている演技では、低学年がダンス、中学年がエイサー、高学年がソーラン節に挑戦です。練習では、上級生が手本となったり、下級生が懸命に振付けを覚えたりする姿が見られ、本番が今から楽しみです。しっかり練習し、成長した姿を見ていただきましょう。



児童会のスローガン決定

愛宕小学校児童会では、毎年、学校を良くするためのスローガンを決めていきます。今年も、9日に代表委員会を行い、各学級からの意見をもとに、4年生以上の代表委員で話し合った結果、スローガンが決定しました。それは、「元気いっぱい 笑顔いっぱい 思いやりのある愛宕っ子」です。

このスローガンの下、やまびこあいさつや早寝早起きキャンペーンなどを始めとして、一人一人が、元気や笑顔、そして思いやりにあふれる愛宕っ子になれる取組を進めていきます。運営委員会を中心とする高学年のリーダーシップや全校児童の頑張り大いに期待しています。保護者・地域の皆様も、応援よろしくお願いいたします。



学び方の基礎・基本

学校だよりの前号で、愛宕小学校の子供たちは「よく遊びよく学んでいる」と御紹介しました。それもそのはず、本校には「学びの基礎・基本」という約束があり、これを全校児童が身に付けていきます。

授業の前には、トイレや給水をすませ、机を並べます。1分前には着席し、机の上には教科書・ノート・筆記用具を置き、教科に応じた準備をして待ちます。そして、黙想をした後で挨拶をして授業が始まります。

授業中には、「ぐう、ぺた、ぴん」の正しい姿勢で話を聞いたり、「～です。～ます。」を付けて、最後まできちんと発表したりすることを頑張ります。話を聞くときには、特に注意が必要で、していることをやめて、最後まで聞くことが大切です。話をしている人に体を向けて、その人の顔を見て、自分の考えと比べながら聞くことで、自分の考えが深まります。そして、ノートや学習プリントの書き方にも約束があります。

もちろん、授業の後にはきちんと片付け、次の準備をすることも忘れてはいけません。

さらに、家庭学習にも約束があり、各学年の「学習の手引き」に書かれています。

約束がたくさんあると大変だと思いがちですが、これらの約束を守ることによってしっかりと学習ができます。しかも、全校で行うことで、学年を追う毎に当たり前のこととして身に付いていくのです。そして、学習内容の理解や定着も進んでいくというわけです。

よろしくお祈いします

5月から新たに2名の先生が、子供たちと共に学ぶために学校に来られています。長崎大学大学院生の太塚寛子先生と長崎大学支援実習生の小森日菜珠先生です。

太塚先生は現職の先生ですが、教育学の研究のために1年間大学院で学ばれています。3・4年生の外国語活動を中心に授業に参加し、子供たちがより外国語に親しめるように力を貸していただきます。

また、小森先生は昨年度本校で教育実習をされた方です。全学年で学習支援を行いながら、先生としての学びを深められています。

この他にも、長崎女子短期大学 生活創造学科 栄養士コースの学生5名が、小学生の食育について学びたいと相談に来られました。給食時間を中心に、食事のマナーや栄養等について、子供たちと共に考えてくださることと思います。

皆さん、よろしくお祈いします。

